

第140号
2018.2.1

ひこね 市議会だより



子ども議会を開催しました
平成29年11月18日（土）

平成29年12月定例会（12月4日～12月21日）

- 特集 子ども議会…………… 2～5
- 12月定例会で決まったこと… 6～11
- 個人質問…………… 12～21
- 個人質疑・意見書…………… 22
- 常任委員会視察…………… 24、25
- 大学連携事業…………… 26、27
- お知らせ…………… 23、28

11月11日
リハーサル

第10回 子ども議会を開催しました



議長に議事の進め方を説明



彦根市の未来を担う子どもたちに、議員として質問や提議興味を持ってもらうことを目的に、子ども議会を開催しま第10回を迎えた今回は、市内17小学校の6年生24人が

リハーサルでは、議長立候補者8名の中から議長3人を決定するくじと、全員の議席を決めるくじを行いました。その後、議場で質問をする練習をしました。



議長当選



第10回を記念して作成

議場開放促進委員の模範演技から、議場への入退場は必ず一礼をすることを始め、議長の議事進行に従って質問をする手順を学びました。

初めての議場に緊張と戸惑いを見せながらも、本番に向けて練習を重ねました。



本番さながらの緊張感



8月2日
事前研修会

案をすることを通じて、市議会や市の取組を身近に感じ、した。子ども議員として参加しました。



中野副委員長から詳細を説明



子ども議員選出書交付

事前研修会では、子ども議員選出書交付を受け、子ども議員としての第一歩を踏み出しました。まず、市役所の仕事についての説明を受け、質問を作成しました。この中では、自ら担当課に電話をして、知りたいことを問い合わせたり、直接市役所の担当課を訪れ質問をするなど、質問づくりに積極的に取り組む頼もしい姿がみられました。



担当課へ自ら問い合わせる



教育委員会の指導主事の先生方が、丁寧に指導！



市職員の説明を受ける



11月18日 本番

当日は、3つのグループにわかれて質問し
なかには、質問をよりわかりやすく説明す
らの答弁に対し再質問するなど本会議さなが
ました。
るためにパネル等を作成したり、市の幹部か
らの緊張感のある子ども議会となりました。

第2グループ

9番 城北小学校 北川 七虹さん
「防犯灯が点灯する時間を季節によっ
て変え、よりよいまちづくりを」

10番 旭森小学校 七里 清夏さん
「彦根城を世界遺産に」

11番 城東小学校 永田 智之さん
「路線バスや乗合タクシーなどのサー
ビスの積極的な活用について」

12番 若葉小学校 目片 舞さん
「みんなが快適に過ごせる彦根市をつ
くるために」

13番 佐和山小学校 田中 大翔さん
「命を守る信号の設置を」

14番 城南小学校 荒川 陽彩さん
「みんなが喜び給食にするために」

15番 亀山小学校 田中 葉月さん
「彦根市の洪水対策について」

16番 城東小学校 和田 直也さん
「カラスやのらねこの来ないきれいな
町に」

第3グループ議長

≡ 傍聴者の“声”

子どもたちが彦根市のことを一生懸命
考えて質問をしていて、とてもよかつ
たと思います。

答弁者の説明も具体的にかみくだいた
ものが多く、わかりやすかったです。

第1グループ

1番 高宮小学校 鹿乗 杏樹さん
「彦根市全体の小学校でエコ活動を行
うために」

2番 城北小学校 大西 花音さん
「彦根城築城410年祭をみんなで祝え
るように」

3番 稲枝西小学校 嶋本 美優さん
「稲枝駅近くのふみきり工事について」

4番 城南小学校 馬場 美月さん
「びわ湖の外来魚に対する取組について」

5番 金城小学校 林 風花さん
「ヒアリやヤマカガシ等の危険な生物
の対策について」

6番 城西小学校 中村 悟さん
「小学生にかっこいいヘルメットを配
ろう」

7番 鳥居本小学校 原 卓也さん
「鳥居本の自然をさらに生かした公園を」

8番 佐和山小学校 吹田 萌望愛さん
「駅東をみんなが集える場所へ」

第2グループ議長

第3グループ

17番 高宮小学校 廣田 愛結さん
「私たちの通学路にガードレールの設
置を」

18番 稲枝北小学校 柴谷 茉佑さん
「彦根梨を広めるために」

19番 河瀬小学校 蒲池 一義さん
「ビワイチを応援し、湖岸に立ち寄っ
てもらうために」

20番 城陽小学校 足田 蓮さん
「須越町にみんなが安心して遊べる公
園を」

第1グループ議長

≡ 子ども議員の“感想”

- ・子ども議会に出られると分かってから約半
年間、不安でいっぱいだった日々をふり返
ると、本番でもたくさんきん張したけれど、
こんなきょうな体験をすることができて
とても良かったというのが今の心からの感
想です。
- ・今回の子ども議会では、本当に様々な質問
や提案があり、どれも素晴らしいものばか
りだったと思います。これからもこの貴重
な体験を様々な場面で生かしていきたいです。

≡ 子ども議員の“感想”

- ・子ども議会に参加して、「こうやって彦根市
は住みやすい市になっていくのだな」と初
めてわかりました。そのため、議会での話
し合いはとても大切なことだとわかりました。
- ・今回、多くの人の前で、相手に自分の思い
をきちんと伝えることの難しさと大切さを
学ぶことができました。きん張もいっぱい
したけれど、とてもよい体験をすることが
できました。
- ・答弁者の人の答え方は、とても分かりやすく、
ていねいに答えてくれたのでうれしかった
です。

12月21日に閉会した12月定例会の結果についてお知らせします。

予算関係7件、決算2件、条例関係10件、その他議案14件を原案のとおり承認、可決、および認定しました。

また、会議案1件を否決とし、意見書1件を可決しました。

12月 定例会の結果

シティプロモーション推進事業

68万1千円

本市への誘客のため、平成30年2月19日（月）から同月22日（木）までの期間において、滋賀県首都圏情報発信拠点「ここ滋賀」（東京都日本橋）を活用した事業を実施するための経費です。

<事業内容>

- ・ 地場産業である仏壇の技術を用いて作成した井伊直孝公レプリカ甲冑の展示
- ・ 「国宝・彦根城築城410年祭」で使用したバーチャルリアリティ映像の上映
- ・ ひこにゃんによる1日限定の市のアピール



- ①「ここ滋賀」外観
- ②「ここ滋賀」内観
- ③「ここ滋賀」オープニングイベント時のひこにゃんの様子

障害福祉サービス等給付事業

1億7,222万5千円

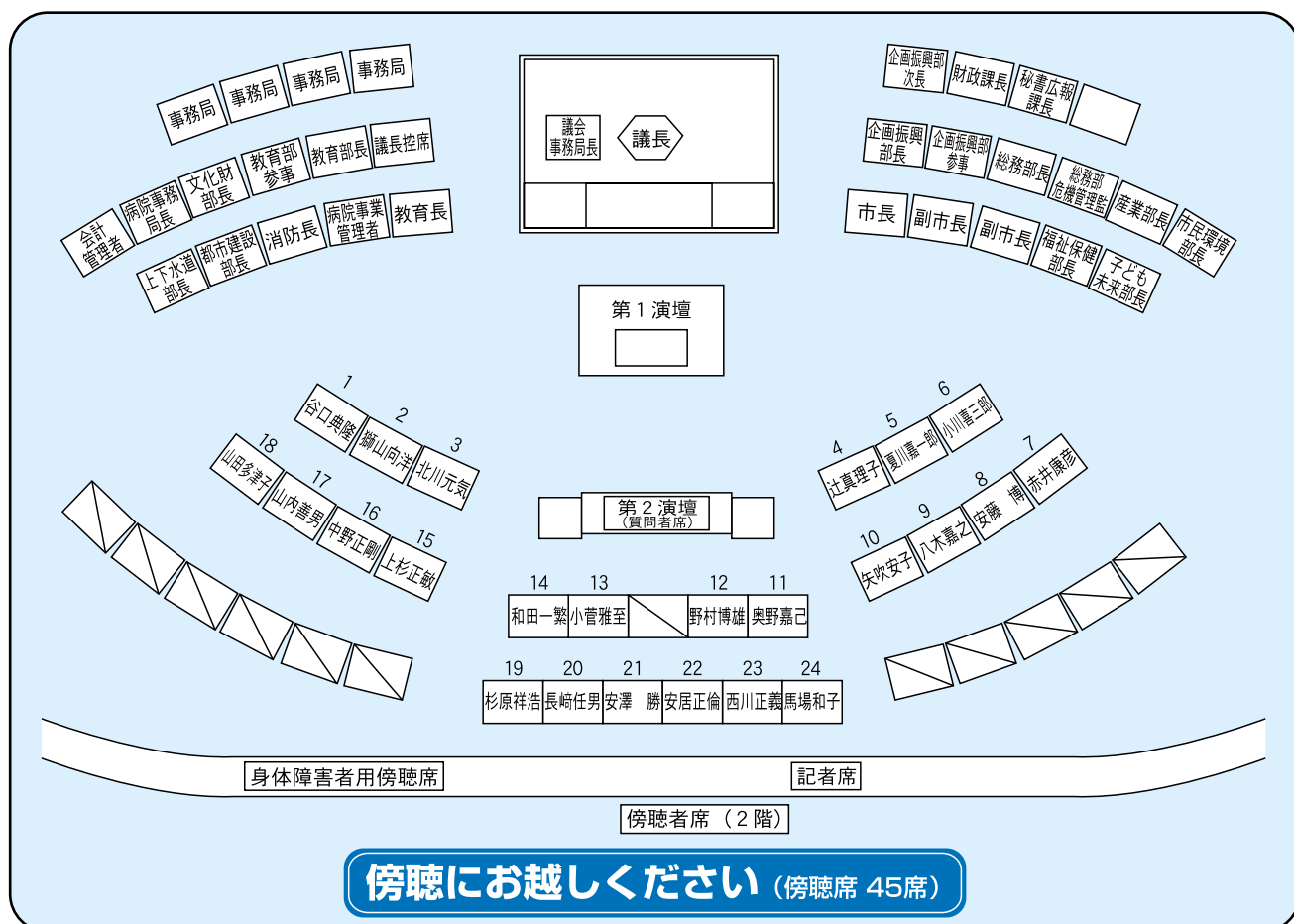
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）に基づく障害福祉サービス等の給付費について、利用者増等により当初の見込みを上回ったため、必要となる経費です。

<事業内容>

・扶助費の主な内訳

居宅介護	△1,395万2千円
重度訪問介護	1,014万2千円
生活介護	1,220万1千円
共同生活援助	3,104万7千円
就労移行支援	1,227万6千円
就労継続支援A型	2,662万3千円
放課後等デイサービス	6,780万5千円
その他	2,608万3千円
補正額	1億7,222万5千円

平成29年12月定例会から議席が変わりました！



予算常任委員会

平成29年（2017年度）
彦根市一般会計補正予算（第7号）を可決

予算常任委員会は、12月14日と21日に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第83号、議案第84号、議案第85号
議案第86号、議案第87号、議案第88号
議案第112号

【主な内容】

○議案第84号 質疑

Q 東京で開催される「ここ滋賀」でのイベントのターゲットは。

A サラリーマンや中高年の方々を対象としている。

Q 彦根市単独で事業を行うのか。

A 今回は彦根仏壇事業協同組合と行う。

Q 「ここ滋賀」で何をPRするのか。

A 滋賀の本物を体験してもらい、彦根市への誘客や移住の促進をはかる。

Q 彦根市都市公園指定管理業務において、2つの企業が特別共同体として管理される理由は。

A それぞれの専門的な業務の観点から2つの企業が

共同で申し込みをされた。

○議案第84号 討論

反対 指定管理者制度は、3年から5年で更新時期を迎えることで労働者は常に不安にさらされる。

また、価格競争のしわ寄せが労働者の賃金に向かうと考え、反対する。

結果

・議案はいずれも原案のとおり承認および可決

市民産業建設常任委員会

彦根市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例案を可決

市民産業建設常任委員会は、12月15日に委員会を開催し、15件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第90号、議案第92号、議案第93号、議案第94号
議案第96号、議案第97号、議案第98号、議案第99号
議案第100号、議案第101号、議案第102号、議案第103号
議案第107号、議案第110号、議案第111号

【主な内容】

○議案第96号 討論

賛成 専門的な見地から事業を行うことで、事業内容がより充実し、市にとっても有益であると考え

ることから賛成する。

○議案第96号、議案第101号、議案第103号 討論

反対 指定管理者制度については、3年から5年で更新期限を迎えることで、そこで働く労働者が常に雇用不安にさらされる。また、選定のための

価格競争のしわ寄せが労働者の賃金にむかうといった問題がある。市が率先してこのような不安定な雇用環境を作り出すことは認められない

ため反対する。

○議案第102号 討論

賛成 稲枝地区公民館の指定管理者については、連合自治会の非常に強い意欲のもとに制度を利用することになったことから賛成してきた。その経過から今回の議案に対しても賛成する。

結果

・議案は、いずれも原案のとおり可決および認定

企画総務消防常任委員会

【審査】

・議案第113号、議案第114号、議案第115号

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

彦根市職員の給与や退職手当に関する条例を一部改正する条例案を可決

企画総務消防常任委員会は、12月21日に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。



福祉病院教育常任委員会

【審査】

・議案第89号、議案第91号、議案第95号、議案第104号、議案第105号、議案第106号、議案第108号、議案第109号

【主な内容】

○議案第106号

Q 放射線科医師の診断や複数医師による診断などのチーム医療体制はどうなっているのか。

A 放射線科医師が赴任したばかりであったので体制が整わず、脳外科医のみでカンファレンスを行った。

○議案第108号

Q 事故の現状を分析し、再発防止を徹底すべきでは。

A 公用車に啓発シールを貼り付けたり、同乗者が後方確認するなどの徹底を図る。

○議案第95号 討論

反対 市民体育センターを取り壊すことの理由が不明確であり、残して整備する申し入れをせず、議会や市民へ十分な説明がされていない。取り壊しにより、現在利用されている方の代替え施設の保証がなく、財政的な不安もあることから反対する。

賛成

主会場の整備遅れを生じさせないことが大切である。新しい市民体育センターについては、特別委員会と協議を行い、スポーツ拠点とすることから賛成する。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

彦根市民体育センターの設置および管理に関する条例を廃止する条例案を可決

福祉病院教育常任委員会は、12月19日に委員会を開催し、8件の議案について慎重に審査しました。

新市民体育センター整備調査特別委員会

今回の委員会をもって新市民体育センター
整備調査特別委員会を終結

10月30日に開催した第8回特別委員会では、現在の作業状況の報告および、9月26日開催の特別委員会と10月2日開催の（仮称）新市民体育センター建築設計検討委員会の中で出された意見への対応について説明を受けた。次いで、（仮称）新市民体育センター建築工事基本計画（案）として、これまで本委員会が出された意見を盛り込んだ案が提示され、基本設計として総括した説明を受けたうえで慎重に審議を行った。

審議の後、委員長から、本特別委員会設置からの経過等を述べ、昨年の9月定例会で可決された付帯決議の内容をはじめ各委員からの新市民体育センター整備全般に係る指摘、提案を踏まえながら、様々な観点から議論を深めることができたこと、市民の負託を受けた議員による議論の結果を建築設計検討委員会に反映することができたこと、以上のことから、本特別委員会の設置の所期の目的は達成されたものと判断できるとの見解を示した。

そのうえで、今後の議会としての本事業へのかかわりは、関連予算案、契約議案といった議案の上程が予想されることから、本会議、常任委員会場で審議を行うこととし、今回の特別委員会をもって委員会の終結を決定した。

今後、実施設計に移る段階で引き続き体育センターおよびひこね燦ぱれすの利用者・地元・競技団体等の関係者からの意見も伺いながら事業を進められることを執行部に要望し、委員会を閉じた。

議会改革特別委員会

地方自治法の一部改正に伴い
議会選出監査委員のあり方について協議

11月24日ならびに12月14日に開催した委員会では、議長から当委員会に諮問された「地方自治法改正に伴う議会選出監査委員のあり方について」と「決算審査にかかる付属資料について」の2件を議題として協議を行った。

まず「地方自治法改正に伴う議会選出監査委員のあり方について」は、同法の一部改正により、『議員のうちから監査委員を選任しないことができる』とのただし書きが条文に追記されたことを受けての協議であったが、委員からは概ね、有権者の付託を受けて施策全般を俯瞰できる議員としての立場で、代表監査委員とはまた違った視点での監査業務を行える等の見解が示され、各会派の意見を聴取した結果、監査制度の充実強化を図る上からも、有権者の付託を受けた議員が、今後も引き続き監査委員の職に就くことを彦根市議会の見解とすることを決した。

続いて行った「決算審査にかかる付属資料について」では、決算審査の時期の前倒しも踏まえて、付属資料の見直しも含めた議論を委員各位に求めた。資料の簡略化ありきの議論は避けるべきとの認識は、すべての委員の共通するところではあったが、決算審査時における付属資料の取り扱いや決算審査の時期の前倒し、また決算書作成時期のあり方等々については、多様な意見があった。

その結果、執行部に対し、議会における決算審査時の意見を新年度の予算編成に活かせるようなスケジュールの策定を望むとともに、決算書類の提出時期についても、可能な限りの迅速さを要望し、加えて、今後の議会ICT化も視野に入れた決算書類の作成を求め、付属資料については従来のとおりとすることに決した。

なお、いずれの議題についても、その結果は委員長が議長に対し、答申することで委員の了承を得た。

12月定例会の議決結果

12月定例会 議案の審議結果

会期：12月4日～12月21日

■全員賛成で承認・可決・認定した議案等

項目	番号	件名
議案	83	専決処分につき承認を求めることについて(平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第6号))
	85	平成29年度(2017年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	86	平成29年度(2017年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	87	平成29年度(2017年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)
	88	平成29年度(2017年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)
	89	彦根市発達支援センターの設置および管理に関する条例案
	90	彦根市駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案
	91	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案
	92	彦根市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例案
	93	彦根市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
	94	彦根市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例案
	102	高宮駅コミュニティセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	105	彦根市中老人福祉センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	106~109	損害賠償の額の決定につき議決を求めることについて
	110	平成28年度(2016年度)彦根市高宮財産区会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて
	111	平成29年度(2017年度)彦根市高宮財産区会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて
	114	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	35	損害賠償の
	37	額の決定に
	38	ついて
	36	和解および損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案

【賛否が分かれた議案等・審議結果】

(○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席)

項目	番号	件名	結果	谷口典隆	獅子向洋	北川元気	辻真理子	夏川嘉一郎	小川喜三郎	赤井康彦	安藤博	八木嘉之	矢吹安子	奥野嘉己	野村博雄	小菅雅至	和田一繁	上杉正敏	中野正剛	山内善男	山田多津子	杉原祥浩	長崎任男	安澤正勝	西川正義	馬場和子
議案	84	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	95	彦根市民体育センターの設置および管理に関する条例を廃止する条例案	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	96	彦根市男女共同参画センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	97	ひこね燦ばれすの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	98	彦根市俳遊館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99	夢京橋あかり館の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	100	彦根市宮中央駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	101	彦根市宮河瀬駅前西口駐車場、彦根駅前第1自転車駐車場、彦根駅前第2自転車駐車場、河瀬駅前東口自転車駐車場および河瀬駅前西口自転車駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	103	彦根市都市公園の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	104	彦根市ふたばデイサービスセンターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	112	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	113	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	115	彦根市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	2	道路の整備促進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会議案	2	彦根市民体育センター廃止の是非について市民の意思を問う住民投票条例案	否決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



市政を
ただす!

12月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

各議員が決める

質問の内容は、議案に限らず市政全般から議員個人が決めます。

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。



登録戦略は県・文化庁、高評価の中、進捗中

A 市役所の関連部署が連携する体制整備が必要でありワーキンググループを立ち上げ

Q 歴史文化都市としての城下町整備は。

A 歴史文化都市としての城下町整備は。

Q 文化庁の指示に従って彦根城とその関連資産の単独登録に取り組んでいる。

A 他城と合わせての五城案は。

Q 課題共有で関係良好。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

Q 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。

A 彦根城の世界遺産化は本市積年の悲願。近年「彦根城とそれを囲む日本型城郭都市」の新タイトルで再出発、内外に大きな期待を抱かせるも今ひとつ戦略の不透明さが気になる。そのような中、国県との連携は。



夏川嘉一郎議員



彦根城・世界遺産化戦略の在り様について

A 取組中。また市民と行政が一体となった取組も検討中。

Q 世界遺産に懸ける市長の決意は。

A 平成36年には登録を実現したいと考えている。



▲世界遺産登録が待たれる彦根城

その他の質問

・「いじめ」は教育の根幹に関わる問題であり、全力で対処の要あり



防災スピーカーや 起動式ラジオ配布の考えは



赤井 康彦議員

Q 平成25年の台風18号時には避難判断水位を超えたことから警戒1号体制から2号体制に切り替えたが、今回は何故替えなかったのか。

A 当日衆議院選挙と重なり本部体制が整わなかったのも一因である。

Q 選挙も大事だが言い訳にはならない。より体制が整う警戒2号体制を取るべきだったのではないか。

A 市長陣頭指揮のもと警戒1号体制でできると判断した。

Q 災害時に情報発信をしても市民が受信をしなければ意味がない。防災スピーカーや起動式ラジオ配布の考えは。



危機管理室としては 実施の方向で予算要求

A 必要性を認識しており、経済的な導入方法や補助金等の財源確保を検討している。

Q 実施する方向か。

A 危機管理室としては実施の方向で予算要求していく。



▲防災スピーカーと起動式ラジオのイメージ

その他の質問

- ・自治会所有のゴミ集積所内での不法投棄の対応は
- ・放置自転車の対応は
- ・河川決壊時の消防団の行動は



病院経営改善の 医師確保と施設基準の取得は



小川喜三郎議員

Q 医師確保対策としての研修医および専攻医の受け入れに係る魅力ある指導プログラムの導入と指導医の数は。

A 選択科目は院内と協力大学病院等の診療科から選択でき、指導医は34名を届け出。

Q 現在の受入状況は。

A 専攻医5名と研修医3名。

Q 今後の医師確保対策は。

A 教育・研修環境を充実し大学等あらゆるコネクションを活用して医師確保に努める。

Q 地域医療支援病院承認の可能性は。

A 収益増の重要課題として取り組み、体制と地域医療支援に係る必要14要件を全て満



教育環境を充実し 新たな施設基準を取得する

A たし、本年度末に承認見込み。

Q 施設基準取得の進捗は。

A 収益増のため総合評価・病棟薬剤業務実施加算を取得。夜間急性期看護補助体制加算取得に積極的に取り組む。



▲彦根市立病院

その他の質問

- ・世界遺産登録への仮称「意見交換・応援1000人委員会」の内容は
- ・世界遺産登録のメリットとデメリットは



病児・病後児保育の 定員拡大に対する考えは

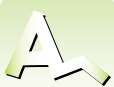


安藤 博議員

の策定では、改めて必要な利用者数の見込みを算出し、利用ニーズや少子化の動向、社会環境を踏まえ、定員の拡大や、新たな施設の開設も含め方策を検討していく。

Q 彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町を対象として、平成24年9月に藤野こどもクリニックのご協力により、初の病児・病後児保育施設「こあら」が開設された。利用者から感謝の言葉とともに、定員の拡大や新たな施設開設を求める要望がある。当局の見解を求める。

A 平成31年度末までを期間とする「彦根市子ども・若者プラン」では、年間の利用者数を964人、実施箇所は1か所としており、平成28年度の利用者数は521人であった。平成32年度からの新たな「子ども・子育て支援事業計画」



新たな計画策定で 定員の拡大等を検討する



▲保育室の様子（病児保育室「こあら」）

その他の質問

- ・平成30年度の下水道整備予定は
- ・公共施設への災害トイレ設置に対する考えは



弓道やなぎなた競技への本市の取組は



杉原 祥浩議員

Q 競技人口の少ない弓道やなぎなた競技への市の取組は。

A 国体仕様のひこにゃんを用いたPRや活動展示等で啓発。

Q ハンドボール競技への市の取組は。

A ジュニア期の育成強化等、市としても支援していく。

Q 陸上競技の育成、強化を図っていく計画は。

A 体育協会に陸上競技選手の育成もお願いしたい。

Q 部活動のあり方について取り組む予定はあるのか。

A 国や県の動向を踏まえ、市内中学校の実態や状況を考慮し検討していく。



国体仕様のひこにゃんを 用いてPR等を行う



▶ なぎなた競技

Q 部活動における外部指導員の増員および条件の検討は。

A 県の「部活動指導員配置促進事業」の詳細が示されたら、その活用も含め外部指導員の増員および条件を検討していきたい。

その他の質問

- ・平成28年10月に発生した死亡事例の詳細は
- ・「住もつよーひこね」リフォーム補助事業今年度の結果は



減災・備災の手立ては 台風21号被害から



馬場 和子議員

可能な整備方法を前向きに検討していただくよう彦根市としても強く要望していく。
積雪等の情報発信は。
市ホームページの「大事なお知らせ」の中に掲載予定。



▲大きな被害の生じた大藪浜の状況



実施可能な整備方法で 平田川改修を検討する

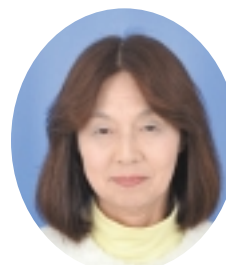
Q 湖岸への漂着物の処分は。
A 地元の協力のあった大藪浜や八坂湖岸への流木等は、彦根市清掃センターでも受け入れ、早期の処理に協力する。
Q 浜欠け原因究明と対策は。
A 琵琶湖水位の上昇と暴風・波浪により発生した。大藪地先の被害は災害と位置付け、河川の災害復旧事業として強固な護岸による復旧を滋賀県として計画されている。
Q 平田川流域での浸水被害は河川改修の遅延が原因では。
A 台風による被害状況や浸水被害の懸念を滋賀県に伝え、県・市連絡調整会議の場でも要望活動を行っている。実施

その他の質問

- ・彦根市立病院の医療人材の確保と定着のための手立ては
- ・経営改善の手立ては
- ・市民への情報伝達の在り方について



城山等観覧料は 特別会計にすべきではないか



辻 真理子議員

きではないか。
A 現在、事業費を一般財源から繰り入れている状況から、考えていない。



▲彦根城天守と天秤櫓



現在のところ 考えていない

Q 城山観覧料は築城410年祭後、600円から800円に値上げとする議員提案によって改定されたが、改正条例はいつ公布されたか。
A 10月17日に公布した。
Q 値上げの告知は十分か。
A 「広報ひこね」、HP等で告知し、関係機関などへもお知らせをした。
Q HPの例規集の修正は。
A 改正条例の施行日が12月11日であるので、修正中である。
Q 観覧料収入等は、値上げ後は約5億円を優に超えると思われるが、これを「(仮称)彦根城事業特別会計」として一般会計と区分して経理すべきではないか。

その他の質問

- ・新ごみ処理施設整備基本計画に関する市長のスタンスは
- ・パーク・アンド・バスライド社会実験について



「成年後見制度」の取組を



上杉 正敏議員

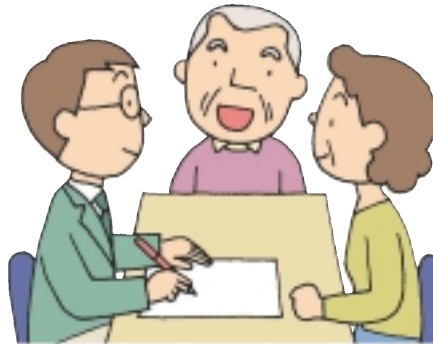
Q 彦根市の成年後見人利用者の現状は。

A 成年後見制度は、認知症・知的障害・精神障害などによって、物事を判断する能力が十分でない方を法的に支援する制度で、彦根市に居住する利用者は、平成29年6月30日時点で、274名である。

Q 彦根市における成年後見制度の利用促進基本計画の現状は。

A 「成年後見制度の利用の促進に関する法律」において、「市町村は、当該市町村の区域における成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるよ

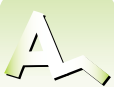
う努める」と規定されていることに基づき、本市計画の策定に必要な基本的事項を調査審議いただく審議会の設置根拠となる条例の制定を平成30年度中に行う。



▲成年後見人相談のイメージ

その他の質問

- ・子育て支援手続き簡素化への取組を
- ・彦根市全般における「マイナポータル」の活用を



利用促進基本計画策定に向けて取り組む



川嶋副市長の辞任騒動の責任・処分は



北川 元気議員

Q 川嶋副市長は辞表を6月26日に提出され、その後大久保市長をはじめ多くの人から説得を受け、一週間後の7月3日に取り下げられた。

この辞任騒動は、多くの市民や職員に大きな混乱・不信感を与えている。この一連の辞任騒動におけるその後の対応は。

A こうした分野に精通した弁護士の見解を求めて参考にするなどとし、今回の事案に対する意見書をいただいた。現在対応について検討を重ねている。

Q 川嶋副市長の責任・処分は。

A 意見書を参考に検討して

いるところ。

Q 大久保市長の責任・処分は。

A 弁護士の意見書によると法的に義務違反はない。



▲議場での市長・副市長の席

その他の質問

- ・市民体育センター取り壊しについて
- ・台風21号の被害は
- ・小学校給食の公金化について



弁護士からの意見書のもと検討している



JR稲枝駅西側地区の開発について



西川 正義議員

Q 開発に向けたアドバイザーの派遣は。
A 内閣府で「地方創生人材支援制度」が実施されているが今後導入について検討していく。

Q 開発に向けた市長の決意は。
A 稲枝駅西側の開発は、大変難しい問題が多く、特に農業振興地域の整備に関する法律に基づく農用地からの除外は最大の課題である。市長として着実に推進できるように都市計画課や農林水産課と協議を行い、実現のための検討や県との協議調整を指示しながら進めている。

Q 開発担当窓口の設置は。
A 窓口設置の提案は当然のことであり、直ちに専任職員の配置までは困難であるが、できるだけ早期に対応窓口を明確にした体制整備を図っていく。



▲開発が待たれる稲枝駅西側地区



課題を解決し 実現を目指す



子どもの未来のために、しっかりと教育を



野村 博雄議員

Q 保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりのために、学校ホームページの早急な開設を望むが。
A 平成30年1月からの稼働に向け作業を進めている。

Q 本年度全国学力学習状況調査結果への教育長見解は。
A 就任以来、学力向上があらゆる教育課題解決の糸口であるとして取り組み、ここ5年の推移で改善傾向にある。今後の取組は。

Q 先進校視察成果の実践、学習指導支援員の活用、家庭学習の充実等一層取り組む。
A 子どもたちの健やかな育ちの面から、本年度滋賀県幼児・児童・生徒定期健康診断（歯科）集計結果への見解は。

Q 小・中学校の学年が進むにつれ本市の処置完了者率が県平均を下回る等、健康教育に更に取り組む必要がある。

A 学力向上や健康教育の充実等一層努力する

○平均正答数(平均正答率)

※調査の結果は、学力の特定の一部です。

教科等	国 語		算 数・数 学	
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」
小 学 校	全 国 11.2問/15問 (74.8%)	5.2問/9問 (57.5%)	11.8問/15問 (78.6%)	5.1問/11問 (45.9%)
	滋賀県 10.9問/15問 (73%)	5.0問/9問 (56%)	11.4問/15問 (76%)	4.8問/11問 (43%)
	彦根市 11.1問/15問 (74%)	5.2問/9問 (58%)	11.7問/15問 (78%)	4.9問/11問 (44%)
中 学 校	全 国 24.8問/32問 (77.4%)	6.5問/9問 (72.2%)	23.3問/36問 (64.6%)	7.2問/15問 (48.1%)
	滋賀県 24.3問/32問 (76%)	6.2問/9問 (69%)	22.8問/36問 (63%)	7.0問/15問 (47%)
	彦根市 24.1問/32問 (75%)	6.2問/9問 (68%)	23.3問/36問 (65%)	7.0問/15問 (47%)

※今年度から滋賀県・彦根市の平均正答率は整数値での公表になりました。

▲平成29年度全国学力・学習状況調査の結果

その他の質問

・より積極的な空き家対策の推進と計画策定について
 ・市民や職員への負担等を考慮した働き方・業務改革の推進を



城まつりのゲストのコースを 変更した理由は



和田 一繁議員

にしておられた方々には非常に申し訳なく思っている。今後主役となる出演者の方についてはコース全体に参加してくださることを第一としたいと考えている。

Q 当日ゲストのパレードコースを変更した理由は。

A 城まつりパレードについては、休憩時間を除き、全体で約1時間の行程となっているが、出演者の健康への配慮や警備安全上の理由、さらにはドラマの衣装やメイクで行列するには30分程度が限界との理由からパレードコースが変更となった。

Q 観客に対してパレード終了後、市の対応は。

A 今回のコース変更については、現場での周知に努めたが、「放送がわからず、見ることができずに残念だった」との声も寄せられており、楽しみ



衣装やメイクでの 行列は30分程が限界



▲ひこねの城まつりパレード

その他の質問

- ・住宅宿泊事業法施行（民泊新法）について
- ・全国大会出場における激励会・壮行会の基準について



彦根駅に音声案内を導入し バリアフリー化を



谷口 典隆議員

が安心して利用できるように彦根駅に音声案内を導入を。
A 県内の他駅や市内他駅の設置状況から、彦根駅にも音声誘導装置の整備が必要と考え、設置に向けて進めたい。

Q 彦根駅駅舎バリアフリー化促進事業の工期遅れの理由は。

A 入札が不調に終わり、年度内に工事が完了できない。今後のスケジュールは。

A 彦根駅西口エスカレーター改修工事は、2月末日の完成に向けて工事を進めている。シエルター改修工事は、8月末頃の完成を予定している。

Q 真のバリアフリー化を目指して、障がい者団体や高齢者の方々、交通事業者や行政等を交えた意見交換の機会を。

A エスカレーター改修工事の終了した頃をめどに、意見をうかがう機会をもうけたい。視覚に障がいがある方ら



障がいがある方らと 協議し設置を進めたい



▲バリアフリー化に向けた工事が続く彦根駅

その他の質問

- ・市役所本庁舎耐震化整備事業の進捗は
- ・高すぎる中学校の制服価格の見直しを



新ゴミ処理施設建設候補地の再検討について



奥野 嘉己議員

A 念頭に建設候補地の再検討が必要。建設候補地とするにはリスクがあるのではないのか。
A 候補地選定委員会で長きにわたり議論をいただき、その結果は重要と認識している。

建設候補地



▲建設候補地周辺の活断層図（国土地理院）



選定結果を慎重・ていねいに説明していく

Q 9月定例会で全会一致で建設場所について慎重審議を求める意見書を議会はまとめだが、どう考えているのか。
A 慎重審議を求めていることを重く受け止めている。
Q 建設場所について慎重審議を求めているが理解が違う。
A 決定したのは建設候補地であり、地元の要望もあり種々の調査・検討を行っていく。
Q 愛荘町竹原には国土地理院から新たな活断層の存在が平成29年9月に公表された。活断層近辺への立地は避けるべきである。委員会評価は重要度ファクターが無いため意味なし。新たな活断層情報を

その他の質問

・県首長会議・県市行政会議での発言、アピールを求める
・現市民体育センター敷地の取り扱いについて



明治維新150年に博物館で幕末の展示を



中野 正剛議員

A 平成30年度の企画展では、維新後の彦根の近代化を扱った「彦根製糸場」の展示を予定している。また、井伊家文書の中で西郷隆盛について記した古文書も紹介する予定。



▲彦根城博物館庭園



企画展で維新後の彦根の展示を予定している

Q 彦根城博物館の展示内容について来館者の評価は。
A 「とても満足」と「まあ満足」と答えた人は84.5%になっており、「ほんもの」の甲冑や歴史ある物に感動した」や「庭園がきれいだった」等の意見をいただいている。
Q 展示内容についての自己評価は。
A 当館の基本コンセプトは「『ほんもの』との出会い」で、実物の展示と正確な情報提供では評価されているが、人を惹きつける華やかさやインパクトが不足している。
Q 明治維新150年に幕末の展示を。

その他の質問

・彦根市スポーツ推進計画について



荒神山フェスの来年以降の開催予定は



長崎 任男議員

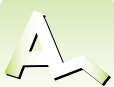
会からの提言の中にも、今後の中南部地域のイベントとして言及されている。現在、開催の具体的な予定はないが、皆さんの意見を参考に検討していきたい。

Q 10月9日に国宝・彦根城築城410年祭の一環で、彦根市中南部地域のイベントとして、地元商工会のご協力のもと開催された荒神山フェスティバルの来場者数は。

A 天候にも恵まれ、昼間に5千人、イベントのフィナーレに打ち上げた花火に約3千人で、合計8千人の方にお越しいただいた。

Q 参加した多くの方々から、とてもよかった、来年も是非開催して欲しいとの感想をいただいている。その荒神山フェスティバルの来年以降の開催予定は。

A ポスト410年祭の委員



皆さんの意見を参考に検討する



▲荒神山フェスティバル

その他の質問

- ・犬上南部広域排水改良事業の進捗状況は
- ・安食川改修の進捗状況は
- ・彦根市のインバウンド戦略について



旧井伊神社社殿を重要文化財候補の再検討を



矢吹 安子議員

実施は予算化も含め検討したい。
Q 旧井伊神社社殿を後世に残すことへの市長の見解は。
A 貴重な文化財建造物であり大切に保存し後世に引き継ぐことが我々の責務と考える。

Q 滋賀県近世社寺建築緊急調査での井伊神社の結果は。

A 昭和60年度に「滋賀県の近世社寺建築」としてまとめられた報告書には井伊神社を含む410棟が掲載された。

Q 旧井伊神社社殿を重要文化財候補として再検討し、価値評価を明確にされては。

A 再検討されるには、市が大学等の研究機関に詳細調査を依頼し先の報告書で見いだせなかった新たな成果が得られた場合が考えられると県から指摘があり、市として詳細調査を行う必要があると考える。

Q その予算の検討は。

A 学識経験者による調査の



学識経験者の調査は予算化も含め検討したい



▲旧井伊神社社殿

その他の質問

- ・彦根駅周辺における観光客増加に向けた整備を
- ・彦根市立病院の経営状況は



市民体育センター廃止に 住民投票を実施せよ



獅山 向洋議員

Q 滋賀県からの彦根市民体育センター移転の要請は口頭だったのか。

A 口頭で依頼があった。

Q 移転に関する県の要請および彦根市の了承に関する文書が存在しないのは事実か。

A 事実である。

Q 市民体育センター移転に関する市長および教育長の決裁文書はあるのか。

A 決裁文書はない。

Q 決裁文書がない理由は、ないものはない。

Q 現在の市民体育センター廃止により体育センターがない状態が継続する期間は、約4年間の予定である。

A



住民投票の実施は
考えていない



▲現市民体育センターの第1競技場

Q 体育センター廃止の重大性に鑑み、住民投票条例を制定し住民投票を実施すべきではないか。

A 住民投票の実施は考えていない。

その他の質問

・新市民体育センターについて



台風21号被害に 市は農業支援と河川対策を



山内 善男議員

Q 台風21号被害の市内農家の現状把握について伺う。

A ビニールハウスの全壊23棟、半壊11棟、ビニール破損152棟など208棟の被害作物は大豆、キャベツ、梨等約76haが浸水被害。大豆は汚粒など、品質低下を懸念する。

Q 大豆の直接支払が減額され、その上多くの被害が発生している。市の救済策は。

A 県がパイプハウスの復旧事業として、当たり千円、但し事業費の3分の1以内の支援を行う。市は関係組織と協力し活用できるよう支援する。

Q 県は早速、被災農家救済の対策を行った。市は上乗せ



パイプハウス被害は県の
補助制度活用を支援



▲ビニールが破損しパイプが曲がったビニールハウス

して救済策を講じるべきでは。
A 他市の状況も勘案しつつ必要に応じ今後検討したい。

Q 一級河川の増水対策は。

A 19の一級河川の未整備区間の改修を県に強く要望する。

その他の質問

・抑制地域等は太陽光パネル規制の条例を耐震補強した市民体育センターの存続を稲枝地区公民館に工レバーターの設置を

12月定例会追加議案 に対しての個人質疑

山内議員から個人質疑があった。

議案第113号の内容は。

A 市長・副市長・教育長・病院

事業管理者・議員の期末手当を特

別職の国家公務員の改定に準じて
引き上げるもの。

Q 総額でいくらの引上げか。

A 83万2千円となる。

Q 市長が過去に自身の報酬引下
げを議会に諮ったのは、市民のく

らしに寄り添ったからではないの
か。今回の引上げ提案はこれと矛

盾するのではないか。

A あくまでも人事院勧告に基づ
く改定で矛盾しない。

Q 議案第115号の内容は。

A 職員の退職手当を1月1日か
ら約70万円引下げる。

Q 賃金の一部であり、一方的な
引下げは許されないのでは。長浜

市は4月1日施行で弾力性がある。

A 各自自治体の判断による。

意見書案を賛成多数で可決しました

道路の整備促進を求める意見書

道路は市民の生活や活力ある経済・社会活動を支えるとともに、災害時には市民の命を守る重要なライフラインとして機能するなど、市民の安全・安心を確保するためには、なくてはならない社会基盤であり、道路整備の推進は必要不可欠である。

本市は、古くから湖東地域の中心都市として発展し、京阪神や中京、北陸地方へのアクセス性の高さから大規模製造企業も多く、観光面においても、国宝彦根城を中心に数多くの魅力ある観光資源が集積しているが、市内の道路整備は十分なものとは言えず、国道8号をはじめ、市内幹線道路での渋滞が慢性化しており、市民生活や経済社会活動に大きな影響を与えている。

また、2024年（平成36年）には、本市を主会場として国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が開催されることから、会場へのアクセス道路や周辺道路の整備が必要となっている。

このような状況のなか、平成29年度までの時限措置となっている「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下「道路財特法」という。）による補助率等のかさ上げ措置が、平成30年度以降、廃止されるとなれば、道路整備の促進に深刻な影響を及ぼすこととなる。

よって、国会および政府におかれては、地方における道路の迅速かつ着実な整備を促進するために、下記の措置を講じられるよう強く求める。

記

- 1 平成30年度予算において、必要な道路関係予算の総額を確保するとともに、平成29年度補正予算を編成し、必要な事業の進捗を図ること。また、道路整備に係る補助率等の拡充を図ること。
- 2 道路財特法の補助率等のかさ上げ措置については、平成30年度以降も継続すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年（2017年）12月21日

彦根市議会

衆議院議長 殿
参議院議長 殿
内閣総理大臣 殿
財務大臣 殿
国土交通大臣 殿

第22回 議会報告会「カタリバ」を開催しました

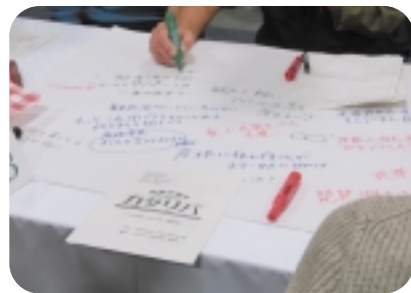
平成29年11月23日に「第22回 彦根市議会 議会報告会『カタリバ』」を開催しました。

今回は「こんな街にしたいな 彦根を」をテーマに、彦根市議会として初めて、ワールド・カフェ方式での意見交換を行いました。



滋賀大学の学生のみなさまをはじめ、たくさんのみなさまにお集まりいただき、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、さまざまな意見が交わされました。

今回ご参加いただいたみなさま、またご協力いただいた関係者のみなさま、ありがとうございました。



議場コンサートを開催しました

議場コンサートは市民の皆さんに議場をより身近に感じていただくため、議場開放の一環として開催しています。

第25回を迎える今回は、12月4日（月）、南地区公民館で活動



されているハーモニカサークル「ご・スマイル」のみなさんに昔懐かしい童謡や唱歌を演奏していただきました。

ハーモニカの音色に合わせて、約50名の観客の皆さんも、一緒に歌詞を口ずさみ、議場全体が和やかで温かい雰囲気になりました。



平成29年度 行政視察受入状況

年月日	議会名
29. 4.20	栃木県宇都宮市議会
29. 5. 9	佐賀県鳥栖市議会
29. 5.10	愛知県岡崎市議会
29. 5.15	徳島県鳴門市議会
29. 5.24	岩手県一関市議会
29. 6.29	福岡県福岡市議会
29. 7. 4	沖縄県石垣市議会
29. 7. 5	宮城県大衡村議会
29. 7.26	富山県射水市議会
29. 7.27	静岡県磐田市議会
29. 7.31	栃木県大田原市議会
29. 8. 1	香川県善通寺市議会

年月日	議会名
29. 8. 3	群馬県伊勢崎市議会
29.10.13	静岡県藤枝市議会
29.10.17	大分県竹田市議会
29.10.18	群馬県みどり市議会
29.10.19	静岡県伊豆の国市議会
29.10.19	北海道苫小牧市議会
29.10.23	埼玉県志木市議会
29.10.25	埼玉県行田市議会
29.10.27	山口県宇部市議会
29.11. 1	佐賀県伊万里市議会
29.11. 1	熊本県宇土市議会
29.11. 7	静岡県袋井市議会

年月日	議会名
29.11. 9	岡山県岡山市議会
29.11.14	埼玉県蕨市議会
29.11.17	埼玉県坂戸市議会
29.12.26	埼玉県春日部市議会

主な視察テーマ
視察対応プロジェクトチーム
議会報告会
子ども議会
ブランド戦略（ひこにゃん）
空き家対策
中心市街地活性化

委員会による先進地視察を実施

市議会では、議員の中から選任された委員で構成する常任委員会を設け、議案などを専門的、能率的に審査し、また、様々な調査を行っています。企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会には、24人の議員全員が8人ずつに分かれ、委員に選任されています。

委員会では、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる自治体等を訪問し、調査研究を行っています。

今後も効果的な調査研究に努め、市政の発展と向上のため、活発な議論を行ってまいります。

企画総務消防常任委員会

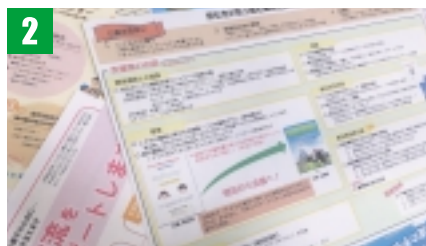
- ① 11月6日(月) 大分県臼杵市「公会計制度」について
- ② 11月7日(火) 愛媛県西予市「地域おこし協力隊を活用した移住促進」について
- ③ 11月8日(水) 愛媛県新居浜市「公共施設アセットマネジメント」について



- ① 臼杵市は、平成6年に財政破綻寸前まで財政が悪化し県下ワースト1位となり、公会計制度に取り組まれました。平成18年の市町村合併の折に新市長が行政改革に着手され、平成22年には本格的に公会計システムを取り入れ行政経営を議会や市民にもわかりやすい制度に変えられました。その結果現在では県下7位まで改善されています。
- ② 西予市は、平成16年に5町が合併し、その後13年間で人口が約8,000人減少しました。平成23年に人口減少を打破する政策として、市内27小学校区域に住民が主体となった地域づくり組織を結成され、地域に合った事業を進めてこられました。現地では、他府県から西予市に地域おこし協力隊として移住された方に活動をお話いただきました。
- ③ 新居浜市では、平成17年度からアセットマネジメント手法導入に向けた勉強会を開始され、平成23年度から4つの取組を実施されました。初めにアセットマネジメント推進基本方針を策定し、その後毎年保全計画を策定され公共施設白書を作成、現在は、公共施設再配置計画を策定されています。また、今後の人口減少ならび高齢化に伴う財源縮小に見合ったアセットマネジメントの導入も計画されています。

福祉病院教育常任委員会

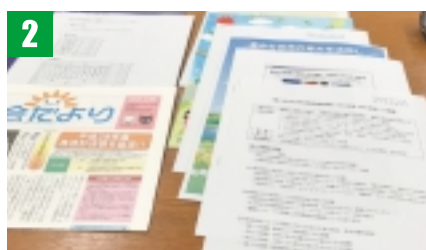
- ① 11月6日(月) 山口県下関市「コミュニティ・スクール推進事業」について
- ② 11月7日(火) 兵庫県明石市「明石市こども総合支援条例」と「こども養育支援事業」について
- ③ 11月8日(水) 京都府福知山市「市立病院の経営改革」について



- ①下関市は、学校を拠点として、学校運営に地域の方々の声を取り入れながら、みんながつながり、みんなで支えるしくみの「コミュニティ・スクール」を市内全小中学校で導入されています。現地では、制度の導入前および導入時の保護者や地域住民の反応、学校応援団の活動状況等について質問をさせていただき、丁寧な回答をいただきました。
- ②明石市がすすめる「こどもを核にしたまちづくり」は、所得の制限を設けず、すべてのこどもが対象であり、市長の強い思い入れがある「こども総合支援条例」や「こども養育支援事業」等の施策の結果、20代、30代の世帯を中心に子育て世代の転入が増え、4年連続で人口増を実現されています。
- ③福知山市立福知山市民病院は、院長の強いリーダーシップと地方公営企業法全部適用のメリットを最大限に生かし、好循環の病院経営のスパイラルを実施し、平成22年から7期連続の黒字経営を実現されています。このポイントの1つが「医師の確保と定着」であり、医師を確保するために単に報酬ということではなく、知識・経験を積める環境、そのための研修と指導環境の充実、学会等への発表の機会を可能な限り提供する等が必要だと感じました。

市民産業建設常任委員会

- ① 10月18日(水) 佐賀県鹿島市「6次産業化に向けた「海道^{みち}しるべ」の取組」について
- ② 10月19日(木) 福岡県北九州市「生物多様性戦略」と「エコポイント制度」について
- ③ 10月20日(金) 山口県周南市「中心商店街活性化」の取組について



- ①鹿島市の「海道しるべ」は鹿島市内の農林水産物を始めとする、様々な地域資源の研究や加工・産業間の連携を通じた、新たな地域活力の創造や産業の活性化を図るための拠点施設として平成26年4月に開館されました。施設内には開発された商品販売スペースの他、大型冷凍冷蔵庫や真空凍結乾燥機、搾汁機など商品開発に必要な調理器具も完備されており、この施設を利用して既に47品目が開発され、一部の商品は都市部でも販売されるまでに成長しています。
- ②北九州市では、温暖化対策など低炭素社会推進施策の一環としての省エネ活動である「ていたんポイント」と言われるエコポイント制度や都市と自然の共生を基本理念として策定された第2次北九州市生物多様性戦略について学習しました。
- ③周南市では、中心市街地を盛り上げようと若い人たちが集まり中心商店街の活性化に取り組まれ、周南市のほか、商工会議所、商店街などの民間企業が出資して「株式会社まちあい徳山」を立ち上げられました。市は中心商店街への出店者にテナントミックス推進補助事業補助金を制度を設けられ、商売をしたいという若い経営者が年々集まり、4年間で29店舗が新規出店されています。

大学の講義に議員が参加しました！

- ① 平成29年10月24日(火)
- ② 平成29年11月14日(火)
- ③ 平成29年11月28日(火)

テーマ

「議員を身近に感じる」

「市議会広報誌について考える」

10月24日・11月14日

彦根市議会と滋賀大学経済学部による連携事業

議会×大学連携



議員として目指すところや
市政等について、お互いの
考えを語り合いました



議員と学生、双方にとって
実りある90分となりました！



指導教員からのコメント



柴田雅美 特任准教授

彦根市議会と本学経済学部の連携協定の成果の一つとして、この一連の講義が実現できましたこと、誠にありがとうございます。

経済学部の地域連携教育推進室では「地域の行政や企業等と学生が一緒になって地域課題の解決を目指す実践型講義」に取り組んでおり、今回の取組は大学生が地方自治を身近に感じ、地方議会の役割や政治家という仕事の大変さや重要性を理解する大変貴重な機会となりました。これをきっかけに彦根市議会との連携が深まり、共同でさらに地域の課題に取り組んでいきたいです。

11月28日

議会が発行する「ひこね市議会だより」の
①デザイン、②記事の内容、③配布方法等
について、学生から貴重なご意見をいただき
ました！



学生17名と議員7名が5つの
テーブルに分かれて実施！



様々な角度からの“本音”を
いただきました！



大学生からのコメント

- ・ 個人質問に力が入っていてわかりやすい。
- ・ 今回の意見交換を通して、議会だよりに興味を持つことができた。是非、今後もこのような取組を続けてほしい。
- ・ 思わず手に取りたくなるような表紙になるよう工夫してほしい。
- ・ 若い人が読みたくなるよう、学生用ページを設けるなどしてほしい。
- ・ 若い人たちが冊子を手にとることができるよう、大学等の施設にも設置してほしい。



広報委員長所感

今回、大学生から多くの“熱”のこもったご意見を頂戴しました。

いただいたご意見を広報委員会の中で検討し、今後の議会だよりの紙面作りに取り入れていきます。

中学生、高校生、大学生が議会傍聴

中学生傍聴

12月11日（月）の本会議（個人質問）を市内7中学校の生徒27人が傍聴しました。



議会の傍聴は、普段することができないことなので、貴重な体験ができました。議員の皆さんが一生懸命議論してくれているから、自分たちの住んでいる彦根市がよりよいものになっているんだなと思いました。

高校生傍聴

①12月11日（月）彦根総合高等学校の生徒8人、②12月12日（火）近江高等学校の生徒5人が本会議（個人質問）を傍聴しました。



大学生傍聴

12月12日（火）の本会議（個人質問）を滋賀大学経済学部の学生19人が傍聴しました。

彦根市議会と滋賀大学経済学部の連携協定に基づいて実施しました。



市民の声を届け、政策に結びつけるために、自分の質問にしっかり答えてもらいたいという議員の方々の熱い気持ちを感ずることができました。

編集後記

ブルーインパルスの展示飛行など多彩なイベントが開催された国宝・彦根城築城410年祭も無事閉幕し、期間中多くの観光客にお越しただいて彦根の魅力を発信することができました。

彦根市議会におきましては、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」のご縁もあり、静岡県浜松市議会との交流をさせていただいたり、滋賀大学経済学部と本市議会初めとなる連携協定を締結し、大学生との意見交換を行うなど精力的に活動した1年でもありました。

また、今年度、全国から既に30を超える自治体の議会が本市へ行政視察にお越しただいております。今後も他の範となれますように議会改革を推進していければと思います。

広報委員会



次の定例会は **2月です**

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
2月26日（月）	開 会	9：00
3月 5日（月）	代表質問 個人質問	9：00
3月 6日（火）		
3月 7日（水）		
3月 8日（木）		
3月 9日（金）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
3月12日（月）		
3月13日（火）	企画総務消防常任委員会	9：30
3月14日（水）		
3月15日（木）	福祉病院教育常任委員会	9：30
3月16日（金）	市民産業建設常任委員会	9：30
3月19日（月）	本 会 議	9：00
3月22日（木）	閉 会	9：00

議会の傍聴は事前申込み不要です。お気軽にお越しください。

※「開会」「代表・個人質問」「本会議」「閉会」は市役所本庁舎5階議場、「各常任委員会」は市役所本庁舎5階第3委員会室で開催します。

ひこね市議会だより第140号
平成30年2月1日発行

編集：広報委員会 発行：彦根市議会 彦根市元町4番2号
電話：0749-30-6130（ダイヤルイン） 電話&FAX：0749-22-0906

ひこね市議会だより 第140号

